

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成27年11月11日

【四半期会計期間】 第87期第2四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 株式会社和井田製作所

【英訳名】 WA I D A M F G . C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 和井田 光生

【本店の所在の場所】 岐阜県高山市片野町2121番地

【電話番号】 0577(32)0390(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 名和 芳治

【最寄りの連絡場所】 岐阜県高山市片野町2121番地

【電話番号】 0577(32)0390(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 名和 芳治

【縦覧に供する場所】 株式会社和井田製作所 東京支店  
(東京都港区西新橋二丁目18番2号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第86期 第2四半期 連結累計期間	第87期 第2四半期 連結累計期間	第86期
会計期間		自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高	(千円)	2,382,689	2,868,505	5,758,663
経常利益	(千円)	140,565	431,659	491,059
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	106,889	280,397	351,642
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	149,875	281,690	424,857
純資産額	(千円)	4,829,550	5,334,793	5,104,531
総資産額	(千円)	8,023,795	8,465,572	8,583,272
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	16.63	43.62	54.70
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	59.6	62.5	58.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	79,278	376,961	525,205
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	13,565	7,096	26,592
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	95,487	474,285	299,857
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,062,611	1,771,486	1,883,793

回次		第86期 第2四半期 連結会計期間	第87期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	31.05	30.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における工作機械業界は、アジアでの電気機械向け受注の減少の影響を受け、外需が減少傾向となっているものの、内需については、政策効果等により比較的高い水準を維持しております。今後は、中国経済の成長鈍化など、外需については先行きの不透明感がありますが、内需については中期的な回復基調が継続するものと見込まれております。

このような経済環境下、当社グループは、新製品である全自動外周研削盤「APX-101」を前連結会計年度より市場投入し、当第2四半期連結累計期間の売上に貢献いたしました。この「APX-101」は、第45回機械工業デザイン賞において、日本商工会議所会頭賞を受賞しております。また、次世代の戦略製品である全自動プロファイル研削盤「iPG-X」、全自動溝入れ工具研削盤「GIG-202」、APXシリーズの上位機種となる「APX-105」について、早期の市場投入に向けた開発を継続しております。

海外展開としましては、台湾の連結子会社である和井田友嘉精機股份有限公司を活用し、部品調達や現地生産による生産の最適化を推進してまいりました。欧州地域においては、ドイツのHAAS社との販売提携契約や欧州切削工具大手メーカーへの販売活動を継続し、欧州市場の拡大を図っております。

また、当社グループは平成27年6月23日に開催した株主総会での承認をもって、監査役会設置会社から、監査等委員会設置会社へ移行いたしました。監査等委員会設置会社への移行に伴い、監査等委員である複数の社外取締役を選任し、コーポレート・ガバナンスをさらに強化することで、長期的な企業価値の増大を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,868百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益は419百万円（前年同期比223.6%増）、経常利益は431百万円（前年同期比207.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は280百万円（前年同期比162.3%増）となりました。

品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

#### (金型関連研削盤)

国内外の金型関連業界からの受注が増加し、結果として売上高は1,035百万円（前年同期比73.9%増）となりました。金型関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の36.1%を占めております。

#### (切削工具関連研削盤)

好調な自動車関連業界等の影響を受け、切削工具メーカーからの受注が堅調に推移し、売上高は1,256百万円（前年同期比2.7%増）となりました。切削工具関連研削盤の売上高は当社グループの総売上高の43.8%を占めております。

#### (その他の機械)

NCプロッター（作図機）およびHAAS社製品等の機械については、売上高は137百万円（前年同期比19.2%減）となりました。その他の機械の売上高は、当社グループの総売上高の4.8%を占めております。

#### (アフターサービス)

アフターサービス（有償修理）及びメンテナンス部品については、売上高は439百万円（前年同期比11.5%増）となりました。アフターサービスにおける売上高は、当社グループの総売上高の15.3%を占めております。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末に比べ117百万円減少し、8,465百万円となりました。これは、主として現金及び預金が189百万円、受取手形及び売掛金が254百万円減少し、仕掛品が394百万円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ347百万円減少し、3,130百万円となりました。これは、主として短期借入金が205百万円、1年内返済予定の長期借入金が255百万円減少したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ230百万円増加し、5,334百万円となりました。これは、主として利益剰余金が228百万円増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、1,771百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、376百万円となりました。(前年同期は79百万円の支出)

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益431百万円、減価償却費128百万円、売上債権の減少額214百万円等であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額278百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7百万円となりました。(前年同期は13百万円の収入)

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入77百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出85百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、474百万円となりました。(前年同期は95百万円の収入)

収入の内訳は、長期借入れによる収入250百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の返済による支出240百万円、長期借入金の返済による支出431百万円等であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は142百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,028,000	7,028,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	7,028,000	7,028,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日		7,028,000		843,300		881,244

##### (6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社和井田製作所	岐阜県高山市片野町2121番地	599,294	8.53
和井田 徹生	岐阜県高山市	430,060	6.12
和井田 光生	岐阜県高山市	426,500	6.07
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8-26	321,300	4.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	321,000	4.57
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	279,200	3.97
和井田 叔子	岐阜県各務原市	250,000	3.56
和井田製作所従業員持株会	岐阜県高山市片野町2121番地	203,500	2.90
株式会社ナガセスッポン養殖場	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯362-1	159,200	2.27
小野 和子	大阪府柏原市	145,000	2.06
計		3,135,054	44.61

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 599,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,427,600	64,276	
単元未満株式	普通株式 1,200		
発行済株式総数	7,028,000		
総株主の議決権		64,276	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が94株含まれております。

## 【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社和井田製作所	岐阜県高山市 片野町2121番地	599,200		599,200	8.53
計		599,200		599,200	8.53

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,401,993	2,212,686
受取手形及び売掛金	1,590,722	1,336,557
商品及び製品	90,188	43,390
仕掛品	1,179,772	1,573,981
原材料及び貯蔵品	499,430	456,556
繰延税金資産	47,159	64,471
その他	25,886	76,154
貸倒引当金	248	207
流動資産合計	5,834,905	5,763,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	781,710	756,598
機械装置及び運搬具（純額）	328,588	265,562
土地	853,226	853,226
建設仮勘定	-	54,757
その他（純額）	233,506	219,045
有形固定資産合計	2,197,032	2,149,190
無形固定資産	35,410	29,654
投資その他の資産		
投資有価証券	354,062	359,042
繰延税金資産	34,716	35,700
その他	127,892	129,142
貸倒引当金	747	747
投資その他の資産合計	515,923	523,136
固定資産合計	2,748,366	2,701,982
資産合計	8,583,272	8,465,572



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	561,455	560,555
短期借入金	520,000	314,617
1年内返済予定の長期借入金	612,988	357,988
役員賞与引当金	40,000	-
未払法人税等	91,830	170,482
その他	330,289	331,549
流動負債合計	2,156,563	1,735,193
固定負債		
長期借入金	979,543	1,053,049
長期未払金	49,030	49,030
退職給付に係る負債	147,010	163,920
その他	146,592	129,586
固定負債合計	1,322,176	1,395,586
負債合計	3,478,740	3,130,779
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	3,588,959	3,817,927
自己株式	406,664	406,664
株主資本合計	4,906,839	5,135,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,843	143,399
為替換算調整勘定	14,128	10,330
その他の包括利益累計額合計	147,972	153,730
非支配株主持分	49,719	45,255
純資産合計	5,104,531	5,334,793
負債純資産合計	8,583,272	8,465,572

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,382,689	2,868,505
売上原価	1,528,382	1,725,131
売上総利益	854,307	1,143,374
販売費及び一般管理費	724,725	724,077
営業利益	129,581	419,297
営業外収益		
受取利息	121	394
受取配当金	5,153	5,736
受取賃貸料	11,992	7,904
為替差益	-	6,580
持分法による投資利益	2,470	-
その他	2,055	2,376
営業外収益合計	21,793	22,991
営業外費用		
支払利息	9,484	9,608
為替差損	304	-
その他	1,020	1,020
営業外費用合計	10,809	10,628
経常利益	140,565	431,659
特別利益		
固定資産売却益	-	371
補助金収入	3,530	-
段階取得に係る差益	5,648	-
特別利益合計	9,178	371
特別損失		
固定資産除却損	38	301
特別損失合計	38	301
税金等調整前四半期純利益	149,705	431,729
法人税、住民税及び事業税	2,870	166,251
法人税等調整額	39,944	13,564
法人税等合計	42,815	152,687
四半期純利益	106,889	279,041
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	-	1,356
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,889	280,397

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	106,889	279,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,226	9,556
為替換算調整勘定	-	6,906
持分法適用会社に対する持分相当額	2,759	-
その他の包括利益合計	42,985	2,649
四半期包括利益	149,875	281,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,875	286,155
非支配株主に係る四半期包括利益	-	4,464

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	149,705	431,729
減価償却費	138,307	128,340
役員賞与引当金の増減額（は減少）	-	40,000
退職給付に係る負債の増減額（は減少）	7,052	16,909
貸倒引当金の増減額（は減少）	111	41
環境対策引当金の増減額（は減少）	2,422	-
受取利息及び受取配当金	5,274	6,131
支払利息	9,484	9,608
為替差損益（は益）	583	1,354
段階取得に係る差損益（は益）	5,648	-
持分法による投資損益（は益）	2,470	-
固定資産売却損益（は益）	-	371
固定資産除却損	38	301
のれん償却額	5,026	-
売上債権の増減額（は増加）	119,456	214,860
たな卸資産の増減額（は増加）	425,814	278,239
仕入債務の増減額（は減少）	252,582	899
長期未払金の増減額（は減少）	85,380	-
その他の資産の増減額（は増加）	23,101	50,089
その他の負債の増減額（は減少）	16,140	44,887
小計	76,611	472,220
利息及び配当金の受取額	5,219	6,124
利息の支払額	9,612	9,335
法人税等の支払額	4,920	92,047
法人税等の還付額	6,646	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,278	376,961
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	600	-
定期預金の払戻による収入	-	77,000
投資有価証券の取得による支出	-	530
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	70,164	-
有形固定資産の取得による支出	54,460	85,331
有形固定資産の売却による収入	-	2,000
無形固定資産の取得による支出	1,538	235
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,565	7,096
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	34,617
短期借入金の返済による支出	155,000	240,000
長期借入れによる収入	465,000	250,000
長期借入金の返済による支出	154,662	431,494
リース債務の返済による支出	34,136	35,978
配当金の支払額	25,714	51,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,487	474,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	583	7,886
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	29,190	112,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,033,420	1,883,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,062,611	1,771,486

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

下記会社のリース会社とのリース契約等に対する債務について債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成27年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)	
鄭州市鑽石精密製造有限公司	40,681千円	鄭州市鑽石精密製造有限公司	27,120千円
無錫高晟成型科技有限公司	22,208千円	無錫高晟成型科技有限公司	14,232千円
吳江翔実模具有限公司	10,378千円	昆山市卓凡精密模具場	8,099千円
その他(13社)	50,304千円	その他(10社)	38,846千円
計	123,573千円		88,299千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
販売諸掛	45,024千円	46,232千円
給与及び賞与	162,274千円	188,031千円
役員報酬	48,180千円	45,174千円
退職給付費用	10,396千円	8,760千円
減価償却費	51,566千円	45,914千円
旅費交通費	62,931千円	68,281千円
研究開発費	176,508千円	142,244千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金	1,576,811千円	2,212,686千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	514,200千円	441,200千円
現金及び現金同等物	1,062,611千円	1,771,486千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月19日 定時株主総会	普通株式	25,714	4.00	平成26年3月31日	平成26年6月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月23日 定時株主総会	普通株式	51,429	8.00	平成27年3月31日	平成27年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年11月2日 取締役会	普通株式	64,287	10.00	平成27年9月30日	平成27年12月7日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載していません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載していません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円63銭	43円62銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	106,889	280,397
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	106,889	280,397
普通株式の期中平均株式数(株)	6,428,706	6,428,706

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

第87期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）中間配当について、平成27年11月2日の取締役会において、平成27年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	64,287千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成27年12月7日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月11日

株式会社和井田製作所  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安田 豊 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高橋 浩彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社和井田製作所の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社和井田製作所及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。